2022.9.22

安全データシート

作成日：2022年9月22日

1.化学品及び会社情報

製品の名称：ひねって含浸ハクゾウジアパック1000
会　　社：ハクゾウメディカル株式会社
住　　所：大阪府大阪市中央区徳井町2-4-9
担 当 部 門：研究開発部
電 話 番 号：06-6942-0390
ファックス：06-6942-2662

2.危険有害性の要約

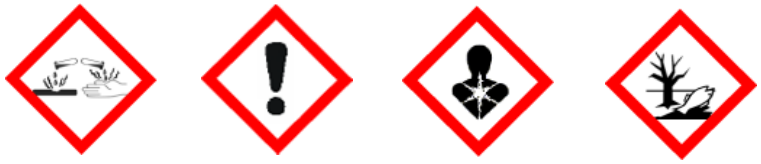
GHS 分類

物理化学的危険	火薬類	区分：区分外
	可燃性・引火性ガス	区分：分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	区分：分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	区分：分類対象外
	高圧ガス	区分：分類対象外
	引火性液体	区分：区分外
	可燃性固体	区分：分類対象外
	自己反応性物質	区分：分類できない
	自然発火性固体	区分：分類対象外
	自己発熱性物質	区分：区分外
	水反応可燃性物質	区分：区分外
	酸化性液体	区分：分類できない
	酸化性固体	区分：分類対象外
	有機過酸化物	区分：分類対象外
	金属腐食性物質	区分：区分 1
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分：区分 4
	急性毒性（経皮）	区分：分類できない
	急性毒性（気体）	区分：分類対象外
	急性毒性（蒸気）	区分：分類できない
	急性毒性（粉じんおよびミスト）	区分：分類できない
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分：区分 2
	眼に対する重篤な損傷・又は眼刺激性	区分：区分 1
	呼吸器感作性	区分：分類できない

	皮膚感作性	区分：区分 1
	生殖細胞変異原性	区分：区分外
	発がん性	区分：区分外
	生殖毒性	区分：区分外
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分：区分 1 （呼吸器、上部消化管の阻害）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分：分類できない
	吸引性呼吸器有害性	区分：分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分：分類 1
	水生環境有害性（慢性）	区分：区分外

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語　危険

危険有害性情報
- 金属腐食性の恐れ
- 飲み込むと有害
- 皮膚刺激
- 重篤な眼の損傷
- アレルギー性皮膚反応を起こす恐れ
- 呼吸器、上部消化管の障害
- 水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策
- 熱から遠ざけること。
- 可燃物、強酸、酸化物の酸、その他の還元性物質、重金属（コバルト、ニッケル、クロム、銅、鉄など）との混合を回避するために予防策を取ること。
- 他の容器に移し替えないこと。
- ミスト、蒸気、スプレーおよび分解生成ガス（塩素ガス）を吸入しないこと。
- 環境への放出を避けること。
- この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 取扱い後は手をよく洗うこと。
- 耐アルカリ性の保護手袋（天然ゴム、塩化ビニルなど）および保護眼鏡（ゴーグル型）または保護面（全面保護防災面）を着用すること。

救急措置　飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ、取り除くこと。皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断と手当を受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
ばく露した時、または気分が悪い時は、医師に連絡すること。
呼吸器、上部消化管の障害が現れた場合は、医師の指示により特別処置が緊急に必要である。
物質被害を防止するため流出したものを吸収すること。
漏出物を回収すること。

保管　可燃物、強酸、酸化性の酸、その他の還元性物質、重金属類（コバルト、ニッケル、クロム、銅、鉄など）から離して保管すること。
直射日光を避け、換気のよい場所に保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。

廃棄　内容物および容器を廃棄する場合は、国および自治体（都道府県および市町村）の規則に従って適切に廃棄すること。

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物
化学名又は一般名　：次亜塩素酸ナトリウム 0.1%
別　名　：次亜塩素酸ソーダ
化学式　：NaClO
CAS　No.　：7681-52-9
官報公示整理番号　：化審法　1-237

4.応急措置

皮膚に付着した場合　：直ちに、汚染された衣類はすべて脱ぐ。付着したところを石鹸と多量の流水で洗う。皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診断を受ける。
眼に入った場合　：水で約 15 分間注意深く洗う。コンタクトレンズを装着していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
吸入した場合　：本製品の蒸気や分解生成した塩素ガスを吸入した場合、新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
体を毛布等で覆い、保温して安静を保つ。
呼吸が弱い場合やチアノーゼが認められた場合は酸素吸入を行う。直ぐには何も症状が認められなくても、必ず医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合　：コップ 1～2 杯の水または牛乳を飲ませる。吐かせると危険を増す。無理にはかせてはならない。気分が悪い時は、医師の診断を受ける。口をすすぐ。

最も重要な兆候及び症状　吸入：呼吸器障害による肺機能低下、呼吸困難
誤嚥：口腔・咽頭・食道・胃の粘膜障害
眼　：眼粘膜の潰瘍・壊死
皮膚：皮膚の腐食

応急措置をする者の保護　二次汚染防止のため、化学防護手袋などを着用して応急措置をする。

5.火災時の措置

消火剤　本製品は不燃性である。

火災時の特有の危険有害性　高温により有害ガス（塩素）を発生する。
高温では分解が促進され容器内圧力が上昇したり、分解ガスが漏出したりすることがある。

特有の消火方法　消火作業は可能な限り風上から行う。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火するための放水により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう、適切な処置をする。

消火を行う者の保護　呼吸用保護具を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項　：特になし
保護具及び緊急措置　：特になし
環境に対する注意事項　：特になし
二次災害の防止策　：特になし

7.取扱い及び保管上の注意

屋外で取扱う場合は、できるだけ風上から作業する。
目や粘膜に直接触れないように、また、蒸気を吸い込まないように適切に保護具を着用する。
小児の手の届かない処に保管する。
高温・多湿の場所及び直接日光を避け、清潔な場所に保管する。
開封後は速やかに使用する。
誤って酸と混合した場合は、直ちにカセイソーダ、消石灰などのアルカリで中和する。
可燃物、強酸、その他の還元性物質、重金属類（コバルト、ニッケル、クロム、銅、鉄など）との直接接触を回避する。
取扱い後はよく手を洗う。
ほかの容器に移して使用しない。

8.物理的及び化学的性質

《液体成分》

性状	無色～微淡黄緑色澄明の液。わずかに塩素のにおい。
ｐＨ	約 10.5
比重	約 1.0
融点・凝固点	データなし
引火性	不燃性
溶解度	水に混和する。

9.ばく露防止及び保護措置

管理指数　管理濃度データなし

ばく露防止　設備対策

排気/換気設備を設ける。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗眼設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

10.安定性及び反応性

安定性　空気、熱、光、金属などに極めて不安定で放置すると徐々に有効塩素を失う。

危険有害反応可能性　自己反応性なし

酸化性があり、可燃性物質や還元性物質と反応する。

強酸、その他の還元性物質と反応し、酸素および塩素を発生する。

重金属類（コバルト、ニッケル、クロム、銅、鉄など）が存在すると、分解が促進される。

避けるべき条件	高温、光（特に紫外線）、pH 低下
危険有害な分解生成物	塩素ガス

11.有害性情報

急性毒性	経口：マウス　LD_{50}　5,800mg/kg（有効塩素 10%） 5%液の幼児経口致死量は、15～30mL である。
皮膚腐食性・刺激性	ウサギ　紅斑、浮腫が認められ、強度の刺激性あり。 ヒト　腐食性があり、酸性溶液にあれば次亜塩素酸を遊離して皮膚、粘膜を刺激する。
眼に対する重篤な損傷	ヒト　発赤、痛み、重度の熱傷を起こし、角膜が侵される。手当が遅れたり、処置が適当でないと視力が下がったり、失明する可能性がある。
皮膚感作性	ヒト　長期または反復ばく露の影響：反復または長期の接続により、皮膚が感作されることがある。 ヒト　洗浄剤や塩素消毒水（プール）に反応した患者などを対象としたパッチテストで、本物質に陽性反応を示した症例報告が多数ある。 ヒト　225 人野患者を対象としたパッチテストでは、0.5%の次亜塩素酸溶液に対し、3 人（1.3%）が陽性を示したが、86～90 人のボランティアでの皮膚感作性試験では、1 および 2%水溶液に対し陰性であった。
単回投与毒性	ddY 系マウス（5 週齢）における LD_{50} 雄：6.8mL/kg（原液） 雌：5.8mL/kg（原液）
反復投与毒性	F344ラット（7週齢）に飲料水として投与すると、2週間投与では、0.25%以上、13週間投与では0.2%以上で著しい体重増加抑制作用が見られた。
生殖細胞変異原性	次亜塩素酸ナトリウムのマウスを用いた小核試験、ラット（骨髄細胞）を用いた染色体異常試験、ラット腎臓を用いたDNA損傷性試験のいずれも陰性であることから、本製品には生殖細胞変異原性はないと推測される。
発がん性	B6C3F1マウスに500ppm及び1000ppmを飲料水として投与したところ、軽度な体重増加抑制が見られたが、発がん性は認められなかった。また、F344ラット（7週齢）を用いた発がん性試験（雄：0.05%、0.1%、雌：0.1%、0.2%、引水投与）においても発がん性は示されなかった。

12.環境影響情報

生態毒性	急性・魚類	各種海水魚	LC_{50}（96時間）	0.023～1.79㎎/L　as Cl_2
	急性・甲殻類	オオミジンコ	LC_{50}（96時間）	2.1㎎/L
	急性・藻類	緑藻および珪藻	EC_{50}（24時間）	0.075～0.4㎎/L　as Cl_2
残留性・分解性	水中で徐々に分解する。			
生体蓄積性	低蓄積性であると推測された。			

オゾン層への有害性　　非該当

13.廃棄上の注意

残余廃棄物　　廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。
廃液をそのまま廃棄すると土地、河川を汚染して農産物、魚介類に影響を及ぼすので、そのまま廃棄してならない。
焼却処理する場合、アフターバーナーおよびスクラバー（アルカリ洗浄液）等の排気設備を備えた焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。

14.輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

国連番号　1791
品名　Hypochlorite solution
国連分類　Class8 Corrosive

航空規制情報

国連番号　1791
品名　Hypochlorite solution
国連分類　Class8 Corrosive

国内規制

海上規制情報

国連番号　1791
品名　次亜塩素酸塩（水溶液）
国連分類　クラス 8 腐食性物質
海洋汚染物質　非該当

航空規制情報

国連番号　1791
品名　次亜塩素酸塩（水溶液）
国連分類　クラス 8 腐食性物質

特別な安全対策　　転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
直射日光を避け、30℃以下で輸送する。

危険物船舶運送及び貯蔵規則に定める「金属腐食性物質」に該当しない。

15.適用法令

毒性および劇物取締法　　非該当

労働安全衛生法	非該当
化審法	一般化学物質
化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
船舶安全法	腐食性物質（危規則第 3 条危険物告示別表第 1） 次亜塩素酸ナトリウム
港則法	危険物・腐食性物質（法第 21 条 2、則第 12 条、 昭和 54 告示 547 別表二ロ）
航空法	腐食性物質（施行規則第 194 条危険物告示別表 1）
道路法	非該当
食品衛生法	人の健康を損なうおそれのない添加物（施行規則第 12 条別表第 1）
水質汚濁防止法	指定物質（施行令第 3 条の 3）

16.その他の情報

特になし

記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを前提としたものなので、これらを参考にして、自らの責任において、個々の取扱いにおいて適切な安全策・適切な処置をとられますよう、お願いします。